

會員各位

本年の教育史学会第68回大会を、東京学芸大学小金井キャンパスにて開催いたします。
ご参加を心よりお待ちしております。

- ### 3. 大会参加費

	一般会員・臨時会員	学生会員	臨時学生会員
大会参加費	3,000 円	無料	1,000 円

- #### 4. タイムテーブル (予定)

9月28日（土）											
9:00				12:00	13:00	14:00	14:20			17:30	
研究発表					総会		シンポジウム				
9月29日（日）											
9:00				12:00	13:00			16:00	16:20		17:50
研究発表					研究発表				コロキウム		

会員（一般会員）／非会員（臨時会員）ともに、発表の有無にかかわらず、すべての参加予定者に事前参加登録をお願いします。次の要領で大会ウェブページより事前参加登録いただき、お名前・連絡先メールアドレス（会員の方は学会に届けているもの）・昼食のご希望等をお知らせください。

登録期間 6月7日(金)～9月20日(金)

登録方法

大会ウェブページに開設予定の事前参加登録ページのフォームに入力してください。詳しくは、大会ウェブページでご案内いたします。

<https://jshse-taikai.jp/>

6. 受付

- (1) 大会参加受付：大会当日、受付（C102 教室）にて参加費をお支払いください。
- (2) 学会費納入：学会事務局受付（C102 教室）にお申し付けください。

7. 研究発表の申し込みについて

(1) 申し込み方法

大会ウェブページの「研究発表申し込み」フォームに必要事項を入力し、送信してください。フォーマットへの入力に難しい方は、大会準備委員会までお問い合わせください。

受付期間 6月7日(金)～6月30日(日) ※送信時刻が6月30日(日)23:59 まで有効。

〔大会ウェブページ〕 <https://jshse-taikai.jp/>

〔大会準備委員会メールアドレス〕 jshse68@u-gakugei.ac.jp

(2) 発表資格

一般会員：第 67 回大会年度（2023 年 9 月～2024 年 8 月）の会費を納入済みの者

新入会員：本年の 5 月末日までに入会の手続きを終え、第 67 回大会年度の会費を
納入した者

(3) 発表内容および発表時間

「大会における研究発表およびコロキウム企画に関するガイドライン」（下掲）をご確認ください。

(4) 受付確認

申し込みの際に登録・記入していただいたメールアドレス宛に、E-mail で受付確認の連絡をお送りします。申し込みより 1 週間を過ぎても連絡がない場合は、大会準備委員会にお問い合わせください。

(5) その他

発表申し込みをされた方には、**発表要綱集録掲載用の原稿（A4 判 2 枚）**を作成いただきます（**8 月 19 日（月）締切**）。様式は大会ウェブページからダウンロードして電子提出してください。なお、6 月 7 日(金)～9 月 20 日(金)の間に**事前参加登録**もあ

わせてお願いいたします。

8. コロキウムの申し込みについて

企画をご予定の方は、**6月7日(金)から6月30日(日)までに**、上記の研究発表と同様の方法でお申し込みください。なお、コロキウムにおける企画者や発表者や発表資格などについては「**大会における研究発表およびコロキウム企画に関するガイドライン**」(下掲)をご確認ください。

申し込み完了の後、準備委員会から受付確認の連絡を E-mail でお送りします。申し込みより1週間を過ぎても連絡がない場合は、大会準備委員会にお問い合わせください。

申し込みをされた方には、**発表要綱集録掲載用の原稿 (A4 判 2 枚)**を作成いただきます (**8月19日(月)締切**)。様式は大会ウェブページからダウンロードして電子提出してください。なお、6月7日(金)～9月20日(金)の間に事前参加登録もあわせてお願いいたします。

「大会における研究発表およびコロキウム企画に関するガイドライン」

1. 同一の大会における同一の会員による研究発表は、1件とする。ただし、個人での発表に加えて共同研究での発表に参加することは、1件に限り可とする。
2. 発表時間は1人あたり30分(研究発表25分、質疑応答5分)とする。複数の会員による研究発表は、申し出により、60分(研究発表50分、質疑応答10分)とすることができる。
3. 研究発表は未発表のものに限る。「未発表のもの」とは、論文として発表していないもの、および他の学会等(学会名称でない日本学術会議協力学術研究団体に加盟している団体を含む)の大会で口頭発表していないものをいう。ただし、未刊行で、自大学のウェブでも未公開の学位論文中の未発表部分は、未発表の研究とみなす。
4. コロキウムの企画者は、会員に限る。
5. コロキウムにおける発表者(報告者、指定討論者等)に非会員を含めることは可とする。ただし、当該非会員は、大会の参加にあたって臨時会員となるものとする。
6. コロキウムにおける発表者は、複数人とする。
7. 発表資格者は、大会が開催される年の5月末までにその年度の会費を納入している者とする。会費未納の会員は、研究発表およびコロキウムの企画を申し込むことができない。

9. 総会【西講義棟 W110 教室】

9月28日(土) 13:00より開催します。会員の方はご出席をお願いします。

10. シンポジウム【西講義棟 W110 教室】

9月28日（土） 14:20より「教育史研究における教育実践史再考」をテーマに開催します。詳しくは会報をご覧ください。

11. 懇親会

今大会では予定いたしません。

12. 昼食

大会期間中、キャンパス内の食堂の営業はありません。

大会参加者向けに両日ともお弁当（一食 1,000 円 税込）を手配します。希望されるは、事前参加登録の際にお知らせください。

13. 宿泊

大会準備委員会では宿泊施設の紹介等はいりません。

14. 託児

今大会では予定いたしません。

15. その他

(1) 本大会では大会プログラム及び発表要綱集録の冊子体は作成しません。大会プログラムにつきましては8月初旬に大会ウェブページ上で公開します。

発表要旨集録につきましては、事前参加登録いただいた会員（一般会員）の方にはウェブサイトの専用ページをご案内します（9月下旬に、アクセス用のIDとパスワードをご登録のメールアドレスにお送りします）。非会員（臨時会員）の方には当日受付で発表要旨集録のデータをお渡しする形となります。

(2) 大会の準備・運営に急な変更が生じた場合は、大会ウェブページにてご連絡します。

(3) 不明な点がございましたら、大会準備委員会までご連絡ください。

教育史学会 第68回大会準備委員会

橋本美保（委員長） 岩田康之（事務局長） 鈴木明哲 遠座知恵

〒184-8501 小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 岩田研究室 気付

E-mail: jshse68@u-gakugei.ac.jp

大会ウェブページ <https://jshse-taikai.jp/>

教育史学会

第68回大会プログラム

2024年9月28日(土)－9月29日(日)



教育史学会 第 68 回大会 参加のご案内

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年の教育史学会第 68 回大会を、東京学芸大学小金井キャンパスにて開催いたします。
ご参加を心よりお待ちしております。

1. 日程 2024 年 9 月 28 日(土)・29 日(日)

2. 会場 東京学芸大学小金井キャンパス

中央 3 号館 (受付)・中央 4 号館＝北講義棟 (分科会・コロキウム)

西 4 号館＝西講義棟 (総会・シンポジウム)



東京学芸大学

アクセスマップ

<https://www.u-gakugei.ac.jp/access/>

3. 大会参加費

以下の参加費を当日受付（中央3号館 C102 教室）にて現金でお支払いください。

	一般会員・臨時会員	学生会員	臨時学生会員
大会参加費	3,000 円	無料	1,000 円

※ 一般会員以外が参加する際は臨時会員とし一般会員と同額の参加費となります。

※ 学生会員の大会参加費は無料とします。

会員でない学生が参加する場合は、臨時学生会員とします。

※ 学生会員・臨時学生会員として参加される方は、受付で学生証をご提示ください。

4. タイムテーブル

9月28日（土）																			
9:00						12:00		13:00		14:00		14:20				17:30			
研究発表								総会				シンポジウム							
9月29日（日）																			
9:00						12:00		13:00						16:00		16:20		17:50	
研究発表								研究発表								コロキウム			

5. 参加登録

会員（一般会員）／非会員（臨時会員）ともに、発表の有無にかかわらず、すべての参加予定者に事前参加登録をお願いします。次の要領で大会ウェブサイトより事前参加登録をしていただき、お名前・連絡先メールアドレス（会員の方は学会に届けているもの）・昼食のご希望等をお知らせください。

登録期間 2024 年 6 月 12 日（水）～9 月 20 日（金）

登録方法

大会ウェブサイトの事前参加登録ページのフォームに入力してください。

<https://jshse-taikai.jp/registration.html#regi>

6. 受付

(1) 大会参加受付：受付（中央3号館 C102 教室）にて参加費をお支払いください。

(2) 学会費納入：学会事務局受付（中央3号館 C102 教室）にお申し付けください。

7. 研究発表・コロキウム

(1) 研究発表について

① 発表時間は 30 分（発表 25 分・質疑応答 5 分）です。

② 発表内容は未発表の研究に限ります（下記「ガイドライン」参照）。

③ 指定された分科会の開始時刻（9:00 または 13:00）までにご参集ください。遅刻した場合、本大会での発表資格を失います。当該分科会の発表順序は変更しません。発表予定者が欠席した場合も同様です。

④ 配付資料は、発表予定者のご判断によりご用意ください。大会準備委員会では、印刷・増刷のご希望には応じられません。

(2) コロキウムについて

① コロキウム企画の進行については、企画者にお任せいたします。

② 配付資料は、企画者のご判断によりご用意ください。大会準備委員会では、印刷・増刷のご希望には応じられません。

「大会における研究発表およびコロキウム企画に関するガイドライン」

1. 同一の大会における同一の会員による研究発表は、1 件とする。ただし、個人での発表に加えて共同研究での発表に参加することは、1 件に限り可とする。
2. 発表時間は 1 人あたり 30 分（研究発表 25 分、質疑応答 5 分）とする。複数の会員による研究発表は、申し出により、60 分（研究発表 50 分、質疑応答 10 分）とすることができる。
3. 研究発表は未発表のものに限る。「未発表のもの」とは、論文として発表していないもの、および他の学会等（学会名称でない日本学術会議協力学術研究団体に加盟している団体を含む）の大会で口頭発表していないものをいう。ただし、未刊行で、自大学のウェブでも未公開の学位論文中の未発表部分は、未発表の研究とみなす。
4. コロキウムの企画者は、会員に限る。
5. コロキウムにおける発表者（報告者、指定討論者等）に非会員を含めることは可とする。ただし、当該非会員は、大会の参加にあたって臨時会員となるものとする。
6. コロキウムにおける発表者は、複数人とする。
7. 発表資格者は、大会が開催される年の 5 月末までにその年度の会費を納入している者とする。会費未納の会員は、研究発表およびコロキウムの企画を申し込むことができない。

8. 総会【西 4 号館＝西講義棟 W110 教室】

9 月 28 日（土） 13:00 より開催します。会員の方はご出席をお願いします。

9. シンポジウム【西 4 号館＝西講義棟 W110 教室】

9 月 28 日（土） 14:20 より開催いたします。

テーマは「教育史研究における教育実践史再考」です。

10. 懇親会

今大会では予定いたしません。

11. 昼食

大会期間中、キャンパス内の食堂の営業はありません。

大会参加者向けに両日ともお弁当（一食 1,000 円 税込）を手配します。希望される方は、事前参加登録の際にお知らせください。詳細については、当日受付にてご案内いたします。

12. 宿泊

大会準備委員会では宿泊施設の紹介等はいりません。

13. 託児

今大会では実施いたしません。

14. 書籍販売【中央 3 号館＝中央講義棟 C103 教室】

プログラムの刊行に際しご協賛いただいた出版社等による書籍の販売がございます。

15. その他

- (1) 本大会では大会プログラム及び発表要綱集録の冊子体は作成しません。大会プログラムにつきましては大会ウェブサイトからデータをダウンロードしていただく形となります。

発表要旨集録につきましては、事前参加登録いただいた会員（一般会員）の方にはウェブサイトの専用ページをご案内します（9 月下旬に、アクセス用の ID とパスワードをご登録のメールアドレスにお送りします）。非会員（臨時会員）の方には当日受付で発表要旨集録のデータをお渡しする形となります。

- (2) 大会の準備・運営に急な変更が生じた場合は、大会ウェブサイトにてご連絡します。
- (3) 不明な点がございましたら、大会準備委員会までご連絡ください。

教育史学会 第 68 回大会準備委員会

橋本美保（委員長） 岩田康之（事務局長） 鈴木明哲 遠座知恵 大森直樹

〒184-8501 小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 岩田研究室 気付

E-mail: jshse68@u-gakugei.ac.jp

大会ウェブサイト <https://jshse-taikai.jp/>

交通案内（東京学芸大学小金井キャンパス）



大会会場へは「正門」もしくは「北門」（第1日目のみ）の利用が便利です
 （第2日目（日曜）は北門・東門が閉鎖されています。正門をご利用ください）

【最寄駅からのアクセス】

○ 武蔵小金井駅北口から

- [5番乗場] 京王バス・小平団地行（武41）もしくは国分寺駅北口行（武42）
 「学芸大正門」下車（約10分・運賃200円）
 ※ 中大循環（6番乗場・武31）は東門を通り、会場へのアクセスは不便です。
- タクシーの場合 正門まで所要約5分（1,000円程度）
- 徒歩の場合 所要約25分

○ 国分寺駅北口から

- [5番乗場] 京王バス・武蔵小金井駅北口行（武42）
 「学芸大正門」下車（約10分・運賃200円）
- [2番乗場] 銀河鉄道バス・小平駅南口行
 「学芸大学・辻調理師専門学校東京」下車（約10分・運賃180円＝現金のみ）
 ※ 北門前に着きます。日曜には北門は閉鎖されていますのでご注意ください。
- タクシーの場合 正門まで所要約5分（1,000円程度）
- 徒歩の場合 所要約20分

【近隣のタクシー会社】以下の二社が比較的便利です。

京王自動車 042-382-9966

三幸交通 042-384-2100

大会 第1日目

9月28日(土)

研究発表

9月28日（土）午前 研究発表

第1分科会（中央4号館＝北講義棟 N101）

司会： 大戸 安弘（筑波大学名誉教授）・川村 肇（獨協大学）

- [1] 9:00 消息科往来物における仁政的社会像
和田 充弘（びわこ学院大学）
- [2] 9:30 幕末明治初期に国際性を育んだネットワーク
―城山静一を事例として―
河田 敦子（東京家政学院大学）
- [3] 10:00 明治における藩儒の家業
井上 快（甲南大学）
- [4] 10:30 創設期の松本開智学校にみる学区の共同性
塩原 佳典（新潟大学）
- [5] 11:00 近代小学校創設における知識人層の関わり
―筑摩県伊那郡の事例より―
多和田 真理子（國學院大學）

<総合討論> 11:30～12:00

第2分科会（中央4号館＝北講義棟 N102）

司会： 森岡 伸枝（畿央大学）・友野 清文（昭和女子大学）

- [6] 9:00 第三共和政期ボルドーにおける女子リセ（Lycée Camille-Jullian, 1883～）
の設立過程
秋永 沙穂（九州大学大学院）
- [7] 9:30 札幌農学校の創設と展開
―北海道開拓をめぐる日米史料の分析から―
熊澤 恵里子（東京農業大学）
- [8] 10:00 共立女子職業学校の発展にみる鳩山春子の経営手腕
西村 史子（共立女子大学）
- [9] 10:30 大正期における高等普通教育改革案の再検討
―菊池大麓の学芸大学案を中心に―
吉岡 三重子（立教大学）
- [10] 11:00 判任文官に求められた学力
―草創期文官普通試験の研究―
池田 雅則（兵庫県立大学）

<総合討論> 11:30～12:00

9月28日（土）午前 研究発表

第3分科会（中央4号館＝北講義棟 N103）

司会： 柏木 敦（立教大学）・宮坂 朋幸（大阪商業大学）

- [11] 9:00 記憶のなかの明治維新と教育
湯川 文彦（お茶の水女子大学）
- [12] 9:30 実業補習学校教員養成所に関する一考察
三羽 光彦（芦屋大学）
- [13] 10:00 「学生思想問題」に対する帝国大学の対応と大学自治
—学生懲戒処分に着目して—
大隈 楽（京都大学大学院）
- [14] 10:30 学制期設立の小学校及び戦後新制中学の特徴
—学校 HP の沿革記述の分析より—
林 一夫（元明星大学）
- [15] 11:00 日本の教育制度は「近代：複線型」「現代：単線型」であったのか
三上 敦史（早稲田大学）

<総合討論> 11:30～12:00

大会 第1日目

9月28日(土)

シンポジウム

シンポジウム

9月28日(土)14:20~17:30 西4号館(西講義棟)W110教室

教育史研究における教育実践史再考—意義と課題、そして可能性—

〔報告者〕佐藤 英二(明治大学)

渡邊 隆信(神戸大学)

山下 達也(明治大学)

〔指定討論者〕前田 一男(立教大学名誉教授)

〔司会〕宮本 健市郎(関西学院大学)

鈴木 明哲(東京学芸大学)

趣旨

コロナ禍を経た学校教育の現場は一人一台のタブレット端末の導入やオンライン授業の実施など、その実践形態を大きく変えてきている。もとより教育という営みは学校空間に限らず家庭、地域、職域などの様々な場面において生き活きと行われてきたはずであり、それはまた近代以降という時代に特定されることもない。だが、これまで本学会のシンポジウムで教育実践史が真正面から議論されたことはなく、また論文や口頭報告を眺めてみても制度・政策史や学説史とその周辺が多数を占め、教育実践史研究は等閑視されてきた感がある。

教育実践史という「小さな(ミクロな)教育史」の成果をせっせと積み上げても、通史や全体像の叙述にはさほど影響を及ぼさないためであろうか。あるいは教育史学における学術的な価値付けの低さであろうか。それとも膨大な史料の選択と収集およびその解釈、研究方法や叙述方法の難しさゆえであろうか。そもそも過去の教育実践は無数、無限に存在し、制度や政策、学説の比ではなく、それらすべてを明らかにすることは到底不可能であり、研究領域の拡散やかみ合わない議論を招来しかねないという問題性も指摘できる。加えて過去の教育実践には、できることならば知りたくないネガティブな側面もあるだろう。

必ずしも本学会の主流とは言えない教育実践史研究について、その意義や価値、課題や限界、さらには可能性などを議論し深めてみることは、私たち教育史研究者の視野を広げてくれることのみならず、本学会のこれまでとこれからを考える契機にもなるであろう。

報告者には数学教育史、教育方法史を専門とする佐藤英二氏、西洋教育史の渡邊隆信会員、東洋教育史の山下達也会員の三氏に登壇いただき、指定討論は日本教育史の前田一男会員が行う。司会進行は宮本健市郎会員及び鈴木明哲会員が務める。

シンポジウムの企画にあたり、今回は本学会の内と外から広い視野での議論を企図し、日

本数学教育史学会や教育方法学会で活躍されている佐藤英二氏をお招きした。本学会からはドイツ自由学校共同体の研究をまとめ上げられている渡邊会員、2022 年に『学校教員たちの植民地教育史』を上梓した山下会員の両名にも報告していただく。前田会員からは三氏の報告を受けて、教育実践史の視点を交えた論点提示を行っていただき、フロアーへの問題提起としたい。

久しぶりの対面でのシンポジウム開催となるので、会員諸氏の多数の参加、そしてフロアーからの熱い議論を期待したい。

《報告者プロフィール》

佐藤 英二（さとう えいじ）明治大学文学部・教授

研究領域：数学教育史，教育方法史

主要業績：『近代日本の数学教育』東京大学出版会，2002 年。「戦後初期における算数・数学科の単元学習批判の再検討ー遠山啓に対する和田義信の反論を中心にー」『数学教育史研究』第 22 号，2022 年，1-12 頁。

渡邊 隆信（わたなべ たかのぶ）神戸大学人間発達環境学研究科・教授

研究領域：西洋教育史

主要業績：『ドイツ自由学校共同体の研究ーオーデンヴァルト校の日常生活史ー』風間書房、2016 年。「『共同体としての学校』の起源と史的展開ードイツ新教育における『ゲマインシャフト』概念に着目してー」日本教育学会『教育学研究』第 87 巻第 4 号、2020 年、29-41 頁。『森のような教師ー日本とドイツの学窓からー』共和国、2023 年。

山下 達也（やました たつや）明治大学文学部・教授

研究領域：東洋教育史

主要業績：『学校教員たちの植民地教育史』風響社、2022 年。『植民地朝鮮の学校教員ー初等教員集団と植民地支配ー』九州大学出版会、2011 年。

《指定討論者プロフィール》

前田 一男（まえだ かずお）立教大学・名誉教授

研究領域：国民学校期教育実践史・生活教育論・教師教育論

主要業績：『教師のライフコース 昭和史を教師として生きて』（共著）東大出版会 1987 年。「戦時下教育実践の史的研究ー東金小学校・国民学校を事例としてー」、『日本教育史研究』第 14 号、1995 年、1～35 頁。「信濃教育会にとって『二・四事件』とは何であったのか」、『信濃教育』第 1620 号、2021 年 1～16 頁。

大会 第2日目

9月29日(日)

研究発表

9月29日(日) 午前 研究発表

第4分科会 (中央4号館＝北講義棟 N101)

司会：大島 宏(東海大学)・米田 俊彦(お茶の水女子大学)

- [16] 9:00 占領初期沖縄における教育方針の形成過程について
—志喜屋孝信の教育構想に着目して—
宮里 崇生(日本大学大学院)
- [17] 9:30 占領初期沖縄群島における常欠児問題
—中三の実態に着目して—
萩原 真美(琉球大学)
- [18] 10:00 高度経済成長期のことばなおし運動
—鎌倉市立腰越小学校のネサヨ運動の事例から—
鳥居 和代(金沢大学)
- [19] 10:30 大学の運営に関する臨時措置法は悪法だったか
—中教審における学生参加論—
羽田 貴史(広島大学・東北大学名誉教授)
- [20] 11:00 戦後教育福祉実践・研究の歴史的変遷と系譜
—スクールソーシャルワークとの関連を中心に—
大崎 広行(武蔵野大学)

<総合討論> 11:30～12:00

第5分科会 (中央4号館＝北講義棟 N102)

司会：岩下 誠(青山学院大学)・藤本 和久(慶應義塾大学)

- [21] 9:00 共同生活兄弟会における修練(exercitium)
—G・ツェルボルト・ファン・ズトフェン(1367-98)の二書を中心に—
下口 円(北海道大学大学院)
- [22] 9:30 18世紀フランスにおける近代学校教育の形成
—キリスト教学校修士会の教育課程と学校経営—
越水 雄二(同志社大学)
- [23] 10:00 20世紀転換期ロンドンにおける学校医療サービスの展開
—扁桃腺炎・アデノイド治療に関する麻酔使用を中心に—
増田 圭佑(日本大学)
- [24] 10:30 米国1930年代のヴァージニア州における学校図書館の発展と位置づけ
—カリキュラム改革との関連性に注目して—
斉藤 仁一朗(東海大学)
- [25] 11:00 20世紀前半のドイツの幼児教育における連続と断絶
小玉 亮子(お茶の水女子大学)

<総合討論> 11:30～12:00

9月29日（日）午前 研究発表

第6分科会（中央4号館＝北講義棟 N103）

司会：江口 潔（九州大学）・高橋 陽一（武蔵野美術大学）

- [26] 9:00 森文政期の地方教育施策とその課題
湯川 嘉津美（上智大学）
- [27] 9:30 高知県尋常中学校の生徒動態に関する考察
小宮山 道夫（広島大学）
- [28] 10:00 1910年代前半東京高等師範学校の教育学教育
—沼田實作成波多野貞之助講義ノートの分析—
白石 崇人（広島大学）
- [29] 10:30 石野隆による表現教育の理念形成
○望月 ユリオ（東京学芸大学非常勤講師）
橋本 美保（東京学芸大学）
- [30] 11:00 戦前期初等教育における成績考査の形骸化を支持する学校経営実態に関する事例的研究
橋本 昭彦（日本女子大学）

<総合討論> 11:30～12:00

9月29日(日)午後 研究発表

第7分科会 (中央4号館＝北講義棟 N101)

司会：日暮 トモ子 (日本大学)・一見 真理子 (お茶の水女子大学)

- [31] 13:00 日本人大学入学拒否事件(1889年、サンフランシスコ)をめぐる現地同胞の反応
—華僑と同一人種とされることへの恐怖、それへの反論、そして沈黙—
岡本 洋之 (兵庫大学)
- [32] 13:30 20世紀初頭イギリスの就学支援における教員の専門性と性差について
小澤 由理 (共立女子大学)
- [33] 14:00 植民地の学校におけるアフリカ史の誕生
—20世紀前半、仏領西アフリカの歴史教育に着目して—
小綿 哲 (京都大学大学院)
- [34] 14:30 日本統治下台湾における公学校の台湾人校長に関する研究
陳 虹彩 (平安女学院大学)
- [35] 15:00 1950-60年代台湾における教師
山田 美香 (名古屋市立大学)

<総合討論> 15:30～16:00

第8分科会 (中央4号館＝北講義棟 N103)

司会：須田 将司 (学習院大学)・佐藤 高樹 (桜美林大学)

- [36] 13:00 永井道明における「遊戯」概念の検討
—1913(大正2)年「学校体操教授要目」におけるスウェーデン体操の奨励と行進
遊戯への批判に着目して—
北村 桜 (立教大学大学院)
- [37] 13:30 大正期における東京市児童校外取締聯合協議会の活動
難波 知希 (東京大学大学院・日本学術振興会特別研究員 DC)
- [38] 14:00 地域国語教育雑誌考
—黎明期『国語と人生』誌をめぐる—
宇賀神 一 (西九州大学)
- [39] 14:30 東京女子高等師範学校附属高等女学校における「特別科学教育」の意義
—「教授要目及教授時数」からの考察—
金 智恩 (お茶の水女子大学)
- [40] 15:00 戦時下綴方教育における慰問文指導について
橋本 萌 (信州大学)

<総合討論> 15:30～16:00

大会 第2日目

9月29日(日)

コロキウム

コロキウム 1

9月29日(日) 16:20~17:50 (中央4号館=北講義棟 N101)

戦後改革と向き合った信州の教員群像に迫る —教育会・教員の在り方論議に着目して—

企画 須田将司 (学習院大学)
報告者 前田一男 (立教大学名誉教授)
白石崇人 (広島大学)
宮坂朋幸 (大阪商業大学)

概要

本コロキウムは、「教育情報回路としての教育会に関する総合的研究会」による20回目の企画となる。梶山雅史が2004年7月に開始した本研究は、これまで3冊の研究書を上梓しつつ、目下、2021~2024年度科学研究費補助金(基盤研究B)「近現代日本における「学び続ける教員を支えるキャリアシステムの構築」の総合的研究」による研究を進めている。

今回は、戦後改革期の信州の教員群像に迫る。今次科研ですすめられた学校文書、郡市教育会、信濃教育会の所蔵史料調査で、活発な「在り方」論議を交わした史料群が見出された。敗戦を機とする価値観・政策の一大転換期において、新たな時代に向うべく教育会や教員の在り方が鋭く問われた。学び続ける場としてどのような組織や団体を選択しようとしたのか、そしてその根拠や理由は何であったのか、またそこにどのような判断の基準や葛藤があったのか。信州の教員たちが残した議論の内実に迫り、教育会の存続が選ばれた真相を問うてみたい。

コロキウム2

9月29日(日) 16:20~17:50 (中央4号館＝北講義棟 N103)

植民地における公教育と宗教

企画 岩下 誠 (青山学院大学)
報告者 樋浦郷子 (国立歴史民俗博物館)
岩下 誠 (青山学院大学)
指定討論者 並河葉子 (神戸市外国語大学)
ユリアン・ビオンティーノ (千葉大学)

概要

近現代における植民地や従属地域では、中核(本国)とは異なる政教関係が構成され、それは教育領域にも及んだ。例えば、本国では明確に区別されていた国家と教会、あるいは諸宗派のあいだの境界線がゆらぎ、それらが交じり合っただけで公教育制度が構成されたり、あるいは逆に、本国ではおよそ不可能なラディカルな世俗化が植民地において実験的に行われるといった事態が生じていたのである。本コロキウムでは、台湾およびトリニダード・トバゴを事例として、植民地支配下における公教育と宗教の関係とその再編過程を検討しつつ、その検討を通じて、物理的暴力ではないタイプの植民地権力とは何かについて考えることにしたい。

大正新教育の実際家

橋本美保編著 4070円
自らを「実際家」と称し大正新教育運動を担った現場の教師たちの成長プロセスを、受容史研究の視点と方法を駆使して丁寧に解明し、実践の生動の実態に迫る。

子ども観と評価でみる学校教育史

松本 和寿著 8250円
戦後教育改革期の日本における、児童中心の思想に基づく教育実践と戦後実施された新たな評価との関係、およびその変化について検討。子ども観と評価の観点から考察。

「共生」の教育創造に向けた〈関係形成〉〈理解・認識〉の内容と連関

金丸 彰寿著 8800円
インクルーシブ教育における〈関係形成〉〈理解・認識〉の意義と課題を踏まえ、1970-80年代の京都府下で行われた「共同教育」実践の創出と展開を整理・分析する。

日本学術振興会の設立に関する研究

山中 千尋著 11000円
学術研究を資金面で支える日本学術振興会はどの様に成立したのか。一次資料を駆使して明治期以降における組織の源流に迫り、世界からの影響と黎明期の様相に迫る。

近現代日本教員史研究

船寄俊雄・近現代日本教員史研究会編著 4950円
わが国の教員史を明治期から現在まで通史的に叙述し、教師のしごとに対する歴史的展望を描く。「知の足腰の強い教職観」の形成に向けて、これからあるべき教師像を探る。

戦前の東京市の初等教育と「特別な教育的配慮・対応」の研究

石井 智也著 8250円
戦前日本の初等教育にて子どもの多様な就学困難に応じた「特別な教育的配慮・対応」がいかなる経緯で誕生し、制度化されたのか、東京市を事例に実証的に解明。

海軍飛行予科練習生の研究

白岩 伸也著 7700円
海軍飛行予科練習生制度の成立と展開の過程、それがもたらした戦後の問題について、軍関係教育機関としての制度的位置づけに焦点をあて、新資料から考察する。

日本数学教育史研究 上巻・下巻

上垣 渉著 各巻22000円
明治5年の学制公布から昭和30年代の学習指導要領改訂に至る頃までの算数・数学教育の形成を、各時代状況における社会的・教育的思想及び数学文化の表出として論述。

米国社会科成立期におけるシティズンシップ教育の変容

齊藤仁一朗著 9900円
20世紀初頭の米国でなぜ「社会科」が誕生したのか？市民育成を主目的に掲げる教科誕生の過程に注目し、「市民」を育てる教育が抱える包摂や排除の論理を描き出す。

近江学園・びわこ学園における重症児者の「発達保障」

垂髪あかり著 8250円
近江学園・びわこ学園における重症児者の「発達保障」のあゆみについて、思想史研究、施設実践史研究、個別事例研究を連関させた複合的アプローチにより検討。

近代日本郷土教育実践史研究

板橋 孝幸著 10450円
日本で初めて郷土教育が全国的な運動として展開した昭和戦前期に焦点をあて、学校教育と社会教育を結びつけた郷土教育の理念と実践過程を解明する。

戦前期女子高等教育の「社会創出機能」

藤村 朝子著 6050円
日本女子大学校を対象に戦前期の女子高等教育が果たしていた社会的機能について考察し、「新しい社会をつくりだす機能」という独自の知見を「社会創出機能」として提示。

1958年小学校学習指導要領の改訂過程

澤田 俊也著 9900円
戦後教育の転換点とされる1958年小学校学習指導要領が誰によっていかに改訂されたのかを実証的に解明するとともに、今後の教育課程行政・政策のあり方を展望する。

高橋五山の総合的研究

高橋 洋子著 8250円
紙芝居創始者である高橋五山に焦点を当て、多様な紙芝居の検証と同時代の文化や社会状況を参照しながら考察。五山の紙芝居が持つ特徴と芸術性を浮き彫りにする。

岡倉由三郎と近代日本

平田 論治著 12100円
現代のグローバル世界と英語の覇権をみすえながら、岡倉由三郎の思想と活動に即して「英語」をめぐる近代日本の知の軌跡を探究し、今日的なあり方を再考する。

評伝 成瀬仁蔵

片桐芳雄著（発行：日本女子大学 発売：風間書房） 4950円
女子教育を通して理想的社会を造るべく「社会改良者」となり、新たな世界観を創造しようとした成瀬仁蔵の精神を紐解く。女性の社会進出が問われる現代に問題を提起。

濃尾震災(1891年)における子ども救済と特別教育史研究

能田 昂著 7700円
「災害・感染症パンデミック・戦争等の災禍と子ども救済の特別教育史」の開拓をめざし、濃尾震災（1891年）における子どもの被災・救済の実態を実証的に解明した。

義務教育段階における学習権保障法制の変容に関する研究

牛 玄著 5500円
不登校児童生徒の学校外での学習機会の保障の動きを研究のフィールドとして、「教育機会確保法」制定過程など義務教育段階における学習権保障法制の変容の状況を解明。

石森延男研究序説

宇賀神 一著 7700円
戦後国語教育の立役者とされる石森延男は、「満洲」から文部省に招聘され戦時下の国定教科書を編纂した人物でもあった一教科書編纂者の視点から描く国語教科書史。

ウイネトカ・プランにおける教職大学院の成立過程

宮野 尚著 8250円
本書は、ウイネトカ公立学校の改革の中で、現職教師が主体となり教職大学院を創設していく過程を明らかにして、その意義を考察したものである。

近代日本書字教育史研究

鈴木 貴史著 9900円
言語理解と言語表現の二つの側面に着目しながら言語教育として国語科書写が成立するまでを歴史的に辿り、今後の手書きによる書字教育の可能性を探る。

占領期日本における学校評価政策に関する研究

福嶋 尚子著 12650円
占領期の日本で展開されてきた新制高等学校の学校評価政策を素材とし、学校の水準保障を目的とする政策構想と政策過程について解明する。

旧制東京高等師範学校及び 東京文理科大学八〇年のあゆみ

山田宣夫著

A5・1072頁・15400円

本書は「個性を尊重し創造性を育む大学」として優れた教授陣・卒業生を通時的かつ学問分野別に概観し、膨大な資料から蒐集した人物事典。

アメリカの授業料と 奨学金研究の展開

小林雅之著

A5・520頁・6820円

様々な人種が入り乱れる中、差別と格差の問題はあるが、教育の機会を拡げ、世界中から留学生を受け入れてきたアメリカ。その要の一つが高等教育の授業料と奨学金である。今日までの歴史的展開を詳しく追う。

アメリカの授業料と 奨学金研究の展開

小林雅之著

A5・520頁・6820円

様々な人種が入り乱れる中、差別と格差の問題はあるが、教育の機会を拡げ、世界中から留学生を受け入れてきたアメリカ。その要の一つが高等教育の授業料と奨学金である。今日までの歴史的展開を詳しく追う。

アメリカ高等教育史

ガイガー著 原圭寛他訳 A5・744頁・9460円

17世紀のカレッジ創設から米国の高等教育は始まった。宗教戦争から科学技術の発展、世界大戦期へと様々な事件とそれに対応する改革を展開し遂げてきた。その400年の複雑な歴史を、創設期から丁寧に辿った待望の訳書！続巻Ⅱも刊行準備中。

アメリカ高等教育史

The History of American Higher Education: Learning and Culture Since the Founding to World War II

ガイガー著 原圭寛他訳

17世紀のカレッジ創設から米国の高等教育は始まった。宗教戦争から科学技術の発展、世界大戦期へと様々な事件とそれに対応する改革を展開し遂げてきた。その400年の複雑な歴史を、創設期から丁寧に辿った待望の訳書！続巻Ⅱも刊行準備中。

日本の大学の知図

絹川正吉著

A5・336頁・4180円

科学技術に重点化した政府主導の大学政策によって、基礎研究やリベラルアーツ教育が軽視され、教員の研究意欲や学生の学習意欲を阻害されている。大学政策の総合的対応の再考を迫る元ICUの学長の提言。

日本の大学の知図

—大学再生の思想

絹川正吉著

A5・336頁・4180円

科学技術に重点化した政府主導の大学政策によって、基礎研究やリベラルアーツ教育が軽視され、教員の研究意欲や学生の学習意欲を阻害されている。大学政策の総合的対応の再考を迫る元ICUの学長の提言。

近代日本の教育博物館

—モデル館と地域の関係史

高田麻美著

A5・256頁・5280円

北米の教育博物館をもとに設立された明治期の文部省教育博物館やそれをもとに設立された府県立の教育博物館を膨大な史・資料から日本独自の変遷を辿った学校との関係と役割を解明した歴史学的教育研究。

近代日本の教育博物館

—モデル館と地域の関係史

高田麻美著

A5・256頁・5280円

北米の教育博物館をもとに設立された明治期の文部省教育博物館やそれをもとに設立された府県立の教育博物館を膨大な史・資料から日本独自の変遷を辿った学校との関係と役割を解明した歴史学的教育研究。

中国高等職業教育の展開

張潔麗著

A5・264頁・4950円

中国の職業教育は政府主導で進められてきた。今日の産官学要因が複雑に絡み合いながら発展した職業教育の実像を政策過程や実際のカリキュラムや授業実践分析等、各側面から照射した画期的な総合的研究！

中国高等職業教育の展開

張潔麗著

A5・264頁・4950円

中国の職業教育は政府主導で進められてきた。今日の産官学要因が複雑に絡み合いながら発展した職業教育の実像を政策過程や実際のカリキュラムや授業実践分析等、各側面から照射した画期的な総合的研究！

中国独立学院制度の発足・普及・変貌

潘秋静著

A5・296頁・5940円

大学の国際化・大衆化が進行する中国。総合国立大学を母体とした新たな高等教育機関の独立学院が誕生した。独立学院の制度発足から現在の教育実践と評価や課題の多様な展開から大学大衆化の拡大実態を俯瞰した労作。

中国独立学院制度の発足・普及・変貌

潘秋静著

A5・296頁・5940円

大学の国際化・大衆化が進行する中国。総合国立大学を母体とした新たな高等教育機関の独立学院が誕生した。独立学院の制度発足から現在の教育実践と評価や課題の多様な展開から大学大衆化の拡大実態を俯瞰した労作。

韓国の特種教育における教職の専門職性理念の成立過程

志茂こつえ著

A5・311頁・四七三〇円

橘高佳恵著
A5・三三〇頁・三九六〇円
奥平孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
遠藤孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
ドイッ現代史とシュタイナー学校の闘い
A5・三三〇頁・三三〇〇円
菊地かおり著
A5・三三〇頁・三三〇〇円
イングリッドのシテイズンシップ教育政策の展開
A5・三三〇頁・三三〇〇円
千田沙也加著
A5・三三〇頁・四九五〇円
カンボジア・クルー・チャタンの時代
A5・三三〇頁・四九五〇円
本宮裕示郎著
A5・三三〇頁・三七四〇円
イギリスの自由教育論争
A5・三三〇頁・三七四〇円
現代アメリカにおける学力形成論の展開(再増補版)
A5・三三〇頁・五二八〇円
石井英真著
A5・三三〇頁・五二八〇円
渡辺雅幸著
A5・三三〇頁・三五二〇円
連邦制国家インドにおける高等教育の展開
A5・三三〇頁・三五二〇円
インドネシアのイスラーム基礎学習の組織的展開
A5・三三〇頁・三五二〇円
中田有紀著
A5・三三〇頁・三六三〇円
現代アメリカにおける学力形成論の展開(再増補版)
A5・三三〇頁・五二八〇円
石井英真著
A5・三三〇頁・五二八〇円
イギリスの自由教育論争
A5・三三〇頁・三七四〇円
本宮裕示郎著
A5・三三〇頁・三七四〇円
カンボジア・クルー・チャタンの時代
A5・三三〇頁・四九五〇円
千田沙也加著
A5・三三〇頁・四九五〇円
イングリッドのシテイズンシップ教育政策の展開
A5・三三〇頁・三三〇〇円
菊地かおり著
A5・三三〇頁・三三〇〇円
ドイッ現代史とシュタイナー学校の闘い
A5・三三〇頁・三三〇〇円
遠藤孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
奥平孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
橘高佳恵著
A5・三三〇頁・三九六〇円
志茂こつえ著
A5・三三〇頁・四七三〇円

韓国の特種教育における教職の専門職性理念の成立過程

志茂こつえ著

A5・311頁・四七三〇円

橘高佳恵著
A5・三三〇頁・三九六〇円
奥平孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
遠藤孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
ドイッ現代史とシュタイナー学校の闘い
A5・三三〇頁・三三〇〇円
菊地かおり著
A5・三三〇頁・三三〇〇円
イングリッドのシテイズンシップ教育政策の展開
A5・三三〇頁・三三〇〇円
千田沙也加著
A5・三三〇頁・四九五〇円
カンボジア・クルー・チャタンの時代
A5・三三〇頁・四九五〇円
本宮裕示郎著
A5・三三〇頁・三七四〇円
イギリスの自由教育論争
A5・三三〇頁・三七四〇円
現代アメリカにおける学力形成論の展開(再増補版)
A5・三三〇頁・五二八〇円
石井英真著
A5・三三〇頁・五二八〇円
渡辺雅幸著
A5・三三〇頁・三五二〇円
連邦制国家インドにおける高等教育の展開
A5・三三〇頁・三五二〇円
インドネシアのイスラーム基礎学習の組織的展開
A5・三三〇頁・三五二〇円
中田有紀著
A5・三三〇頁・三六三〇円
現代アメリカにおける学力形成論の展開(再増補版)
A5・三三〇頁・五二八〇円
石井英真著
A5・三三〇頁・五二八〇円
イギリスの自由教育論争
A5・三三〇頁・三七四〇円
本宮裕示郎著
A5・三三〇頁・三七四〇円
カンボジア・クルー・チャタンの時代
A5・三三〇頁・四九五〇円
千田沙也加著
A5・三三〇頁・四九五〇円
イングリッドのシテイズンシップ教育政策の展開
A5・三三〇頁・三三〇〇円
菊地かおり著
A5・三三〇頁・三三〇〇円
ドイッ現代史とシュタイナー学校の闘い
A5・三三〇頁・三三〇〇円
遠藤孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
奥平孝夫著
A5・三三〇頁・四一八〇円
橘高佳恵著
A5・三三〇頁・三九六〇円
志茂こつえ著
A5・三三〇頁・四七三〇円

韓国のキリスト教主義高等教育機関の形成

松本麻人著

A5・240頁・3960円

韓国では、四年制大学の80%の私立大学の内、40%がキリスト教主義高等教育機関が占めている。キリスト教に基づく高等教育機関が韓国の高等教育界を占めているのはなぜか。その歴史の変遷を明らかにした労作。

韓国のキリスト教主義高等教育機関の形成

松本麻人著

A5・240頁・3960円

韓国では、四年制大学の80%の私立大学の内、40%がキリスト教主義高等教育機関が占めている。キリスト教に基づく高等教育機関が韓国の高等教育界を占めているのはなぜか。その歴史の変遷を明らかにした労作。

韓国高等教育改革下の大学開放政策の展開

金明姫著

A5・248頁・4620円

急激に少子高齢化が進む韓国の、特に地方大学は入学者確保の問題が深刻だ。名譽学生として地域で活躍した高齢者の受け入れを手始めに、その後中高年者にも学び直しの機会を拡大した政策の展開により地方大学の活性化をはかる。

韓国高等教育改革下の大学開放政策の展開

金明姫著

A5・248頁・4620円

急激に少子高齢化が進む韓国の、特に地方大学は入学者確保の問題が深刻だ。名譽学生として地域で活躍した高齢者の受け入れを手始めに、その後中高年者にも学び直しの機会を拡大した政策の展開により地方大学の活性化をはかる。



〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
HP <http://www.toshindo-pub.com>
☎ 03-3818-5521 ☎ 03-3818-5514
✉ toshindo_onlineorder1985@gmail.com
✉ tk203444@fsinet.or.jp (代表)

* 博論書籍化、教科書等の出版相談は代表メールまで！

不二出版 刊行書籍のご案内

新刊 近代日本盲教育史

——当事者主体の教育とは何か——

体裁ⅡA5判・上製・376頁 著者Ⅱ足立洋一郎 定価Ⅱ3,740円
明治から戦後に至る盲教育の歴史を俯瞰し、全国71の盲(聾)学校の設立史を網羅した、はじめての本格的な盲教育史研究。その黎明期から、盲学校及聾唖学校令(1923年)を経て、戦後にいたるまでの変遷を詳述。

新刊 報徳思想とその展開

——近世から近現代へ——

体裁ⅡA5判・上製・450頁 編著Ⅱ松野尾裕、見城悌治、落合功
著者Ⅱ早田旅人、坂井飛鳥、伴野文亮、伊放海貴則、足立洋一郎、
蔭木達也、須田将司、飯森富夫、張永嬌 定価Ⅱ5,940円
尊徳以降の人びとは、「報徳思想」として彼の精神をどのように伝え、
みずから実践してきたのか? 本書は、「報徳思想」の全体像をとら
えるため、12名の気鋭の研究者が共同でつくりあげた、報徳思想・報
徳運動研究の「現在」である。

【編集復刻版】 占領期報徳運動資料集成

体裁Ⅱ全10巻・A4/A5判・上製・総約4,400頁
編集・解説Ⅱ見城悌治・須田将司
刊行のことばⅡ鷺山恭彦 推薦Ⅱ落合功・奈良岡聰智
全3回配本 揃定価Ⅱ222,200円

【編集復刻版】

大正新教育学級・学校経営重要文献選

体裁Ⅱ全10巻・A5判・上製・総4,026頁
編集・解説Ⅱ橋本美保・遠座知恵 推薦Ⅱ天笠茂・佐藤学
全11期・全3回配本 揃定価Ⅱ198,000円

藤井忠俊研究会 編

藤井忠俊著作集

第1巻『季刊現代史』の挑戦
第2巻『戦争と民衆史』
体裁ⅡA5判・上製・第1巻614頁・第2巻624頁
推薦Ⅱ駒込武 各巻定価Ⅱ7,480円

幼児教育資料アーカイブ4【編集復刻版】 子供の教養

全10巻
別冊1

体裁ⅡA4判4面付・上製・総約3,800頁
別冊Ⅱ解説 総目次・索引 解説Ⅱ福元真由美 推薦Ⅱ太田素子・広井多鶴子
全3回配本 揃定価Ⅱ277,750円

幼児教育資料アーカイブ3【編集復刻版】

幼小接続資料集成

全7巻
別冊1

体裁ⅡA4判2面付(第6巻・B5判/第7巻・A5判)・上製・総
約4,800頁 別冊Ⅱ解説
編集・解説Ⅱ太田素子・小玉亮子・福元真由美・浅井幸子・大西公恵
推薦Ⅱ汐見稔幸・無藤隆 全3回配本 揃定価Ⅱ162,800円

幼児教育資料アーカイブ2【編集復刻版】

戦前期愛育会関係資料集成

全11巻

体裁ⅡB5判(一部2面付)・上製・総5,822頁
編集・解説Ⅱ湯川嘉津美 推薦Ⅱ網野武博・穴戸健夫
全4回配本 揃定価Ⅱ242,000円

幼児教育資料アーカイブ1【復刻版】

関西連合保育会雑誌

全2巻

体裁ⅡB5判・上製・総1,052頁 解説Ⅱ湯川嘉津美
揃定価Ⅱ39,600円

【編集復刻版】 水原克敏編・解題

戦後改革期

文部省実験学校資料集成

〈第1期〉全9巻 体裁ⅡA4判・上製・総3,994頁
全3回配本 揃定価Ⅱ247,500円
〈第2期〉全6巻 体裁ⅡA4判・上製・総2,504頁
全2回配本 揃定価Ⅱ165,000円
〈第3期〉全3巻 体裁ⅡA4判・上製・総1,228頁
揃定価Ⅱ82,500円

不二出版

〒112-0005 東京都文京区水道 2-10-10
TEL03(5981)6704 FAX03(5981)6705
http://www.fujishuppan.co.jp

配本ごと分売可
価格税込 目録・見本進呈

明治前期における 子どもの実態と教育

●田甫桂三 著

近代公教育成立期である明治前期に子どもの実態はどのようなものであったか。「子ども」に関する当時の新聞報道・記事や雑誌、読み物や写真・絵を掲載した資料集。

定価
2,600円
460頁



東京学芸大学 150年の歩み —1873-2023

●国立大学法人 東京学芸大学 編

戦前、戦中、戦後、大学の複雑な変遷史に翻弄されながらもたくましく学んだ学生たちの姿も描き、師範学校以来の150年の歴史を連続的に捉え、簡明にまとめた一冊。

定価
2,420円
206頁



批判的思考と道徳性を 育む教室

—「論争問題」がひらく共生への対話

●ネル ノディングス・ローリー ブルックス 著
山辺恵理子 監訳/木下慎・田中智輝・村松灯 訳

宗教、人種、貧困、正義、ジェンダー……答えの出ない「論争問題」を授業でどう扱い、どう子どもたちとともに考えていくか。価値観や背景の異なる他者との合意点を見つけるには。

定価
2,970円
312頁



「大学における教員養成」 の日本的構造

—「教育学部」をめぐる布置関係の展開

●岩田康之 著

教員養成に関わる諸アクター（中央政府、地方政府、養成機関等）の力関係＝「布置関係」に着目し、主に歴史的な視角と国際比較的な視角の双方から分析。

定価
3,410円
208頁



学歴の専有と意味 —投資・身体化・文化圏

●黄順姫 著

定価2,750円

戦時期～現代の学歴資本に対する研究。人的つなかりの機能の意味とは。



大学を問う —初期大学史研究会のあゆみ

●別府昭郎 著

定価3,190円

大学史研究会のあゆみを著者自身の精神的・学問的成長と重ねあわせ描く。



早稲田教育ブックレット 31 私学の教員養成を探る

—早稲田大学120年のあゆみと次世代への一歩

●早稲田大学教育総合研究所 監修

定価1,100円

歴史と現在を踏まえつつ、私学の教員養成の今後を探ることを目指す。



現代アメリカ教員養成改革における 社会正義と省察

—教員レジデンシープログラムの展開に学ぶ

●高野貴大 著

定価5,280円

社会正義を志向する教師とはどのように養成されるのか。



校長のリーダーシップ —日本の実態と課題

●浜田博文・諏訪英広 編著

定価3,300円

校長のリーダーシップ発揮を支え、制度的・組織的条件の在り方を追究。



夢は時空を超えて

—145年を隔てたG.A.リーランド博士との出会い

●大櫃敬史 著

定価1,100円

リーランド博士に関わる資料を収録。時を超えた奇跡的な邂逅を記す。



日米体育交流に関する実証的研究

—アマーフト方式の導入と日本近代体育の成立

●大櫃敬史 著

定価4,180円

リーランド研究の基礎的資料を元にした日米体育交流に関する実証的研究。



電子版 復刻

「大学における教員養成」の 歴史的研究 —戦後「教育学部」史研究

●TEES研究会 編

483頁
定価6,380円



ホームページよりお買い求めいただけます。右記QRコードもしくは弊社HPトップ画面からキーワード検索「TEES」で試し読み・ご購入できます。



スクールティーチャー —教職の社会学的考察

●ダン ローティ 著/佐藤学 監訳

織田泰幸・黒田友紀・佐藤仁・榎景子・西野倫世 訳 定価4,400円

世界での教師教育改革の起爆剤となった名著中の名著をついに翻訳。



中国人留学生の父 松本亀次郎研究

—その学問観と教育実践を中心として

定価2,200円

●二見剛史 著

日中関係の学問的旗手として注目された松本亀次郎の生涯を伝記風に執筆。



近代日本の大学拡張

—「開かれた大学」への挑戦

●山本珠美 著

定価9,240円

明治期～昭和戦後初期の日本の高等教育機関における大学拡張の歴史を論じる。



実務と教養をつなぐ

—秘書教育プログラムの成立と変容

●江藤智佐子 著

定価4,730円

秘書教育プログラムの成立から衰退までのメカニズムを歴史的な展開から解明。



ナチスの教育 —ライン地方のあるギムナジウム

●小峰総一郎 著

定価2,970円

ドイツのギムナジウムの教育を究明した研究書から「ナチス教育」像を探る。



近現代教育史 新版

●斉藤利彦・佐藤学 編著

定価2,090円

日本、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカ、ロシア…近代以降の教育史テキスト。



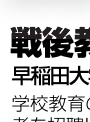
ペスタロッチーに還れ 第2版

—教育的格差・貧困・偏見に挑む

●黒澤英典 著

定価5,060円

教育的格差・貧困・偏見へ挑み続けた、教育者の原点、ペスタロッチーを取り上げる。



戦後教育実践セミナー

●各巻 定価2,640円

早稲田大学教師教育研究所 監修「戦後教育実践セミナー」編集委員会 編

学校教育のあり方に一石を投じる授業方法や学校づくりをすすめた実践者や継承者を招聘し、その記録をまとめたシリーズ。

I 戦後の教育実践、開拓者たちの声を聴く

<講演者>小沢健一、横須賀薫、湯山厚、武藤啓司、市川博

II 戦後の教育実践、「今」へ伝えるメッセージ

<講演者>久保嶋信保、村田栄一、乙部武志、大槻武治、板倉聖宣、佐藤藤三郎

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

2024年11月刊行

戦後教育史をひらく

日本教育史の新たな地平を切りひらくこととする米田俊彦と新進気鋭の研究者らが、子どもと生活、ジェンダー、教育改革、文化の視点から戦後教育史研究を開拓していく最新論文集。

米田俊彦・鳥居和代・齋藤慶子・大和雅絵・松島のり子 編

その他執筆者：宇津野花陽・奥村典子・河田敦子・金智恵・桜井恵子・萩原真美・橋本萌・山崎奈々絵・吉岡三重子（50音順）

A5判・上製・368ページ

税込価格 4,400円



北海道家庭学校110年

北の大地の暮らしと教育

キリスト教社会事業家である留岡幸助が、問題を抱える少年たちへの感化事業の実践の場として1914年に創立された北海道家庭学校。数万点におよぶ学校内所蔵文書を駆使して、その歴史をたどる。

北海道家庭学校編

家村昭矩・仁原正幹 監修 二井仁美 編集委員長

A5判・上製・424ページ

税込価格 3,300円

大阪児童福祉の先駆

博愛社の史的研究

1890年の創立以来130年以上の歴史を持つ社会福祉法人博愛社。その歩みについて、これまで膨大な資料群をもとに研究が積み重ねられてきた。本書はその集大成ともいえるべき研究書である。

室田保夫・今井小の美・高岡裕之・峰谷俊隆・倉持史朗 編

A5判・上製・480ページ

税込価格 5,500円

復刻版『博愛雑誌』 全1巻

第1号〜第20号（1890年5月〜1891年12月）

博愛社創成期の機関誌。創立の理念と趣旨を示す貴重史料、待望の復刻！

室田保夫 解説

A5判・上製・304ページ

税込価格 11,000円

 **六花出版**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-28 電話 03-3293-8787
FAX 03-3293-8788 <https://rikka-press.jp> e-mail: info@rikka-press.jp

教育史学会第 68 回大会プログラム

2024 年 8 月 9 日発行

〔発行〕教育史学会 第 68 回大会準備委員会

〒184-8501 小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 岩田研究室 気付

E-mail: jshse68@u-gakugei.ac.jp

大会ウェブサイト <https://jshse-taikai.jp>

〔制作〕株式会社 コームラ

〒501-2517 岐阜市三輪ぷりんとぴあ 3